

南米の主要拠点 FISAの取り組み



プロフィール

1974年に設立された当社グループのブラジル拠点、Furukawa Industrial S. A. Produtos Electricos (以下FISA) は、常に研究開発に多額の投資を行い、電気通信インフラ、情報技術のソリューションを提供してきました。南米では構内配線および光ネットワークインフラにおけるトップランナーとして南米各地に5工場（ブラジル3カ所、アルゼンチン、コロンビア各1カ所）を有し、事業を拡大しています。



中南米経済ミッションにて（2014年8月）
左からFISA川添会長（当時）、当社吉田会長、
安倍総理大臣、当社大竹専務

サステナビリティに配慮した製品開発・環境管理

FISAは、新製品開発の開始時から環境問題に配慮し、有害物質の制限（RoHS）、低煙ゼロハロゲン（LSZH）、ライフサイクル分析、省エネ・節水、温室効果ガス（GHG）排出低減、そしてRecycle（再資源化）、Reduce（ゴミ削減）、Reuse（再利用）、Repair（修理）、Rethink（見直し）の5RというMOTTAINAI（モッタイナイ）コンセプトに基づき新製品を創出しています。

また、環境に関しては、同社独自の「Green IT」プログラムが重要な役割を

担っています。このプログラムを通じて、顧客から排出される多くの廃棄物が適正に処理され、環境や人が重金属やダイオキシンに汚染されるのを防いでいます。サステナビリティの主要な三本柱、「環境（Environment）」「社会（Society）」「経済（Economy）」に貢献できる同プログラムは、参加する顧客にもメリットがあるため、FISAにとって新たな商機になっており、2014年までに、アルゼンチン、チリの顧客にまで同プログラムを拡大することができました。

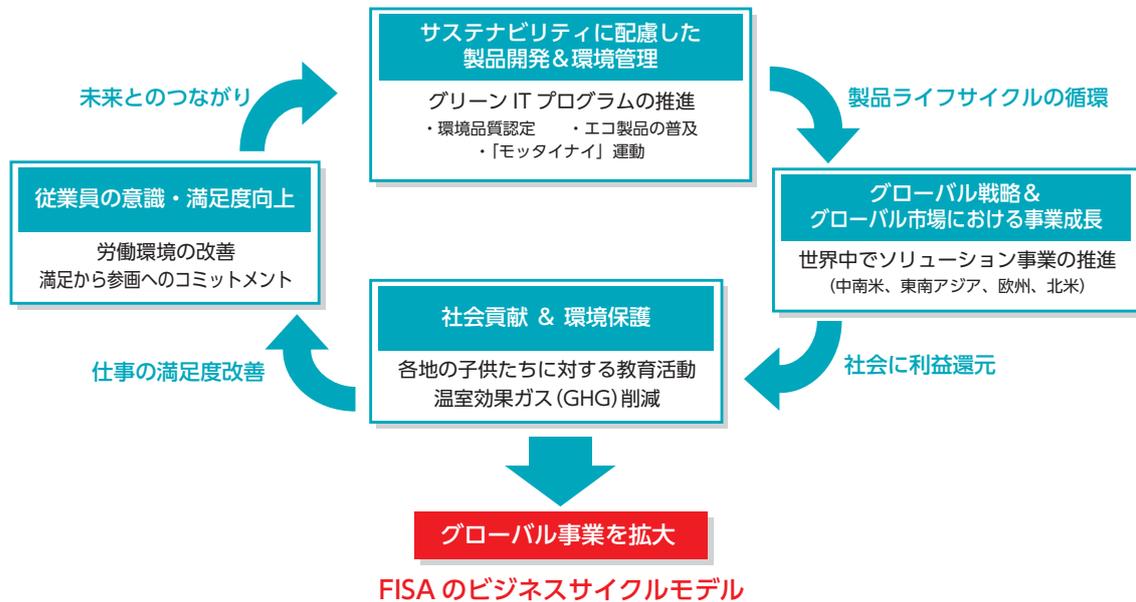


MOTTAINAI（モッタイナイ）
マークはFISA独自で制作したもの

グローバル戦略と事業成長

FISAが提供する通信ソリューションは、導入が容易なだけでなく、最大のパフォーマンス、迅速なサービスを実現し、顧客の期待を上回るものとなっています。このことは、ブラジルをはじめ中南米の顧客に実施した調査の結果で実証されており、事業の利益拡大につながっています。ビジネスモデルには、代理店、イ

ンテグレーター、再販業者、設置業者、設計者などの一連のパートナーが関わり、プロジェクト提案から、製品、物流、サービス、保証に至るまで、最高の通信ソリューションを顧客に提供できるよう、パートナー全体で取り組んでいます。



社会貢献と環境保護



FISAの社会貢献活動

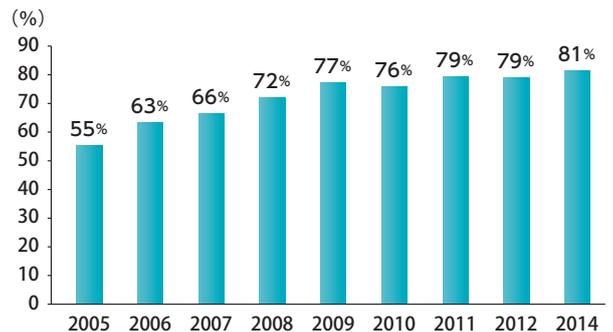
FISAのプログラム「Preparing Children for the Future (子供たちの未来に向けて)」は、単に教えるだけではありません。恵まれない子供たちに、より良い未来を築けるよう、教育、助言、希望を与える活動を行っています。近隣に住む子供たちの中には、FISAやその他の会社で、未成年のうちは見習いとして、その後は従業員として働く子供たちもいます。さらに、こうした若者の一部に技術学校の奨学金を毎年援助しています。

本プログラムの他に本の出版、演劇、スポーツの後援やアスリートに対する支援を通して、文化促進という形の社会貢献活動を行っています。献血・骨髄ドナー団体への寄付や促進キャンペーンも実施しています。さらに、世界に対する重要な貢献として、温室効果ガス(GHG)排出インベントリの管理、およびこうした排出を抑制・低減するための活動を行っています。

従業員の意識・満足度向上

会社に満足している従業員は、熱心に仕事に取り組み、日常業務は効率化され、さらに良質の製品・サービスを顧客に提供することが可能となり、結果的に業績を向上させることとなります。FISAは従業員の満足度を重視しており、2005年から従業員満足度調査を策定、実施しています。改善点を見極め、社内のあらゆる分野で必要な措置を行っています。さらに、PDCAサイクルに従い再度調査を実施し、その結果を集計・分析した上で新たな措置を講じています。また、従業員の健康にも配慮し、ストリートランニングチーム、スイミングチームの支援や、スポーツを楽しむための最新インフラの提供を行っています。従業員に対し、“Preparing Children for the Future”プログラムの一環である合唱団やボランティア活動への参加も推奨しています。

従業員の満足度調査結果推移
(コミットメントに対する達成満足度と参画度の平均値)



※2013年度は実施せず

